

# 議会だより

No.222

第3回定例会・第3回臨時会



## ～ド・レ・ミ運動会～

9月20日コロナの影響で延期となっていた運動会が無事に行われました。まだまだ予断の許さない状況であり、さまざまな制約がある中でいつもとは違った形ではありましたが、関係各位の協力のもと、開催できたことは何よりです。

天気にも恵まれ、コロナに負けない子どもたちの頑張る姿が印象的でした。

### 主な内容

一般質問 / 5 議員が 6 件を問う……	3 P～
第 3 回定例会 補正予算等の審議	7 P～
第 3 回臨時会 補正予算の審議……	9 P～
委員会の活動状況……	13 P～



# 第3回定例会



令和2年第3回定例会は9月15日に招集され、休会をはさみ18日まで開かれました。初日15日は、町長と教育長の行政報告、令和元年度7会計決算を決算審査特別委員会付託、令和2年度2会計の補正予算の提案理由の説明を行い、人事案件1件受理、条例改正等を可決しました。最終日18日は、5名の議員による6件の一般質問の後、令和2年度補正予算の審議後、採決を行い、可決しました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書ほか2件を採択し、各関係機関へ提出することとしました。

## ● 9月定例会の全日程

### ◆ 1日目 (9月15日) 開会10:00 閉議13:25

- 1 会議録署名議員の指名
- 2 会期の決定
- 3 諸般の報告 (閉会中の諸行事出席状況報告等)
- 4 行政報告 (町長・教育長)
- 5 同意1件 (教育委員会教育委員の任命) …同意
- 6 報告3件 (令和元年度健全化判断比率及び資金不足比率についてほか) …受理
- 7 認定7件 (令和元年度一般会計歳入歳出決算認定ほか) …決算審査特別委員会付託
- 8 会議案1件 (特別委員会の設置) …可決
- 9 議案5件 (新冠町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例ほか) …可決
- 10 議案2件 (一般会計補正予算ほか1会計の提案説明)

### ◆ 2日目 (9月18日) 開議10:00 閉会14:33

- 1 会議録署名議員の指名
- 2 一般質問 (5議員6件)
- 3 議案2件 (一般会計補正予算ほか1会計の審議) …可決
- 4 発委2件 (意見書) …可決
- 5 発議1件 (意見書) …可決
- 6 会議案3件 (閉会中の継続調査) …可決

## 令和2年 第3回 定例会

### 鳴海町長 行政報告

- ◆ 新型コロナウイルス感染症対策
- ◆ J R日高線にかかる取り組み
- ◆ 地域おこし協力隊 (農業支援)の採用

### 山本教育長 教育行政報告

- ◇ 「教育委員会点検・評価報告書」の提出
- ◇ 「令和2年度新冠町少年国内研修交流事業」の中止

※詳しくは町広報10月号をご覧ください。

## 人事

### ◎ 教育委員会委員の任命

(全員挙手で同意)

【内容】現教育委員の鈴木時男氏が令和2年10月17日をもって任期満了を迎えるため、引き続き鈴木氏の任命に同意した。

鈴木 時男さん (宇東町)

### ◎ 議会録画DVD貸出

議会では、議会での討論の様子を傍聴することができない方に対し、DVDに録画し、貸出しをしています。議会事務局 (役場3階) において、どなたでも借りることができます。



酒井益幸議員

医療対策

問 インフルエンザ流行期を見据えた対策は

答 対応策に万全を尽くす

酒井議員

新型コロナウイルス感染症はいまだ収束していない。今後はインフルエンザの流行とコロナウイルス感染症の同時期に備えた医療対策として、インフルエンザ予防接種率の向上とワクチン確保が必要である。

新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの症状が類似しており、見分けがつきにくい。厚労省の指導では、今後判断に迷う場合には、かかりつけ医に電話相談が10月中に追加され、同時期にインフルエンザとコロナウイルスが発症した場合、医療機関が混乱する恐れがないように蔓延防止対策について、4点伺う。

- ①同時期におけるインフルエンザへの注意喚起と蔓延防止対策は。
- ②国保診療所における予防接種の現状は。
- ③予防接種における子ども・高齢者への補助率引き上げの考えは。
- ④インフルエンザ流行期とコロナウイルス感染症対策での追加による、サージカルマスク配布事業の考えは。

鳴海町長

①個人予防の考え方に立ち、過度な勧奨にならないよう注意しながら、町政事務委託文書や町ホームページ等で予防接種を勧奨していきたい。

- ②万全を尽くすため、国保診療所において対応策を決定し準備を進めている。夜間接種日の設定や接種予約時間の細分化、接種場所を一般外来者と分けて保健センターで実施予定。一人でも多くの町民が予防接種を受けられるよう努める。
- ③補助率の考え方については医療機関ごとに違うことから、料金平均の7割にあたる2500円を補助基本として、13歳未満は2回目500円としている。しかしながら、中学生以下の医療費や特定健診、がん検診、婦人科検診費用の無料化を進めた経緯から鑑み、次年度に向けて補助率の引き上げを前向きに検討していく。
- ④今後の流行期を見据えながらサージカルマスクを備蓄しており、インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症の流行状況により、時期をみながら配布を判断していく。



氏家良美議員

コロナ対策

問 児童生徒のコロナ禍における影響と対策は

答 影響は見られないが、しっかり対応する

氏家議員

長期にわたるコロナ禍における影響は甚大であり、中でも休校による行事の延期、中止などによる子どもへの影響も大きいと推察する。現在、子どもたちにコロナ禍による影響と現状の対策と今後について、4



点伺う。

①長期休校後の児童生徒の心への影響は。また、相談はあるのか。

②子どもたちの学習への影響は。特に、中学三年生の受験への影響と対策は。

③町内の学校、こども園にて感染者が出た場合の対応は。また、課外活動への対応は。

④課外活動等の感染症対策に対する助成の考えは。

**山本教育長** 教育委員会の対応として休業期間中、各家庭には家庭学習への協力、生活リズムの確保や心のケアなど生活面に配慮をしてもらい、随時校長会を開催して学びの保障に関する方策、子どもへの心身の配慮について確認を重ねている。

①長期休校期間後の子どもへの影響を心配したが、現在のところ相談はほとんどない。また、欠席者等の問題も発生していないが、今後も各家庭と連絡調整していく。

②授業日数が不足し、学習への影響が心配されたが、年間指導計画に対する進捗度を随時確認しながら対応。履修遅れなどによる受験への影響はないが、学習については対応策を講じて教育環境の整備に努める。

③文科省のマニュアルを参考に関係機関と連携し、感染症対策本部の決定を重視して、臨時休業あるいは施設消毒等の措置をし、課外活動へも同様の要請を行う。

④活動拠点となるスポーツセンター、レ・コード館等の社会教育施設には、消毒液等を配置し感染症予防対策しており、利用団体の負担は少ない。現在、各活動団体から感染症対策に対する要望はないが、今後、感染拡大等により負担が大きくなる状況があれば検討していく。

**氏家議員** 町内においてコロナ感染者発生により休校になった場合、ひとり親世帯は影響が大きいと思うが、その対応は。また、現場職員へのメンタルケアについての考えは。

**山本教育長** 前回の休校時と同様の支援をする考えではあるが、町内で感染者が出た場合、同様の対応が可能かどうかはその時の状況の中で判断していく。また、現場にとって対応するときに十分な情報があるかどうかでストレス感は違うと考える。情報の共有化、明確化にも配慮して対応していく。

EV車導入

**問** 災害に備え公用車のEV(電気自動車)化を

**答** 計画的に更新・導入する



但野裕之議員

**但野議員** コロナ禍の中、災害時の避難所における3密対策として、分散避難が求められるようになり、避難所を増やすなどの対応が多く自治体で見受けられる。

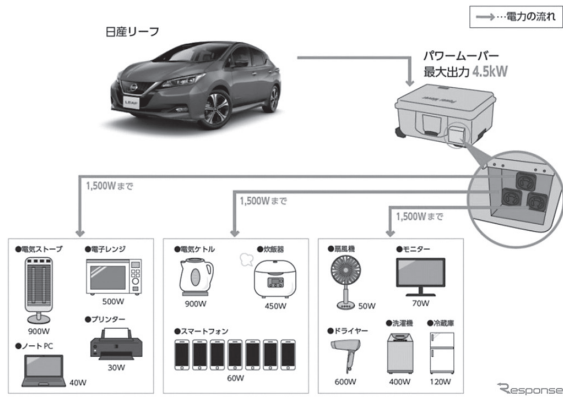
災害時の停電対策として非常用電源の発電機を常備しているが、避難所の増加に伴い発電機を増設しなければならず、財政上あるいは日頃の維持管理も負担になると思われる。

そのような中、EV車を利用して電力を供給する取り組みが全国的に広がっている。

EV車は高額ではあるが、平時には電力供給手段となり利便性も高い。次年度以降、年次計画を立てて公用車入れ替え時に一定数導入すべきと考える。また、自動車会社とEV車貸与の協定を結んでいる自治体もあり、その選択もあると思う。EV車導入を考察すべきでは。

**鳴海町長** EV車輛等の配電可能な車輛は、胆振東部地震発生後のブラックアウトや昨年9月の台風15号による、千葉県を中心とした長期の停電で広く活躍し注目を集めたが、購入費が高額であることが車輛配備のネックになっている。

# 令和2年第3回定例会一般質問



E V車の活用方法 (例)

当町の公用車は、特殊車輛を含め68台あり、乗用タイプ（軽自動車含む）は27台保有。購入から10年以上経過車輛は15台で老朽化が進み、毎年度予算協議されているが予算調整後に再協議している。行政サービス提供上、現在の台数が、必要で防災と車輛更新の視点から、また、二酸化炭素排出抑制の環境問題も考慮し、EV車輛等の必要台数・配車台数を把握し、計画的に更新・導入したい。貸与協定は、近隣町のディーラーと協議の準備をしている。車輛貸与にとどまらず、包括的な連携協定を前向きに進めたい。

## 児童虐待防止法

**問** 改正児童虐待防止法の対応は万全か

**答** 関係機関と連携を図り、子育てを応援

**但野議員**

後を絶たない児童虐待問題への対応を強化するため、親権者などによる体罰を禁止する「改正児童虐待法」が4月から施行されている。

法改正では、体罰としつけの範囲が大きな焦点となり、2月に厚労省の有識者会議は体罰にあたる

行為について、指針をまとめ改正法施行に合わせ運用されている。その指針の実行性を高めるには、親権者や関係機関への周知徹底が必要となる。

そこで、民生委員・児童委員が重要な役割を担う一方、学校やPTAを活用した周知も必要と考える。このことから、所管する町民生活課と教育委員会の連携をとった対応が求められている。

改正法施行後の対応について未然防止の観点から、次の4点について質問する。

- ① 当町において、児童虐待の事例はあるのか。
- ② 民生委員・児童委員に対しての指導内容は。
- ③ 児童・生徒にも周知が必要と考えるが、学校現場での対応は。
- ④ 町民生活課と教育委員会の連携はとられているのか。

**鳴海町長**

① 児童虐待は毎年数件発生し、身体的虐待が平成28年度に2件、29年度に2件、30年度は0件。DVや夫婦喧嘩などの心理的虐待や適切な養育を行わないネグレクトを含め、3年間で12件発生している。

② 民生委員児童委員協議会で制度説明を行い、昨年は管内の専門研修会において室蘭児童相談所職員

による研修を実施し、早期発見のための見守りと行政への連絡調整を周知徹底させている。

③ 児童生徒一人一人に目配りし、虐待等の早期発見と未然防止に努めている。児童生徒への周知として虐待問題も含め、悩み相談の電話やSNS等による連絡先を記載した相談カードを配布している。

④ 新冠町要保護児童対策地域協議会を設置し、町民生活課が構成機関との調整役として協議会の開催・進行管理・定期的な情報共有を行っている。教育委員会とは、日頃から情報交換・情報共有を密に取っている。

今後も各関係機関と連携を図り、体罰などによらない子育てが応援できるまちづくりを目指したい。※新冠町要保護児童対策地域協議会 児童相談所・教育委員会・各小中学校・保健福祉課・町民生活課・静内警察署・静内保健所・民生委員児童委員協議会などで構成。

**但野議員**

地域で子どもを育てるといふ観点から、広報紙などで地域住民に改正法をわかりやすく解説し、周知させるべきでは。

**鳴海町長**

関係部局とどのような形で周知するか協議する。

テレワーク

**問** サテライトオフィス等を整備し、「ICTの新冠町」で人口増を

**答** 政策課題の中で総合的に判断する



竹中進一議員

**竹中議員** 新型コロナウイルス感染症対策に日本全体が立ち向かっている中、3密対策としてオンラインテレワークによる在宅勤務が進められているが、新冠町においてテレワークやサテライトオフィス勤務が出来るよう整備し、定住・移住につながるよう働きかけを行っては如何か。

今、光回線の整備が進められているので、これを有効活用し都会の企業に働きかけを行い費用対効果を高めてはどうか。

オンラインによる遠隔勤務への取り組みや問い合わせなどに対応する専門の窓口と職員の配置は考えていないか。

**鳴海町長**

高速通信網を整備し、情報化社会の技術革新が進む中、町としても幅広い施策に生かしていきたい。

新型コロナウイルス感染症拡大により企業活動や働き方、生活スタイルが変化し、テレワークやサテライトオフィスのニーズが高まり、地方への移住も増えると考えられるので、町内へ取り込むためのアプローチが必要との認識をもって

いる。  
今後、先進事例等の調査研究と専門部門の設置も政策課題の中で判断していく。

**竹中議員** 都会における3密状態での働き方改革のためにも、道内におけるサテライトオフィス先進地である北見市などは、国や道の交付金や補助制度を活用し、テレワークの拠点としている。

このような取り組みはますます重要視され、国も推進すると思うので、この機を逃さず検討する考えはないか。

**鳴海町長**

当町の高度無線環境整備推進事業は本年度末

人材育成

**問** 多世代・異業種による

海外研修の実施を

**答** 状況把握し、

今後の検討課題とする



長浜謙太郎議員

**長浜議員**

沖縄県金武町中川区子ども会との相互交流は10年を迎えようとしている。

これを機に検証を含め、今後のあり方について考える必要があると思う。また、平和教育がテーマの「少年国内研修交流事業」も開始から23年が経過し、同様に考える必要があると思う。

をもって完了する。これをもって各事業へのアプローチ体制が整うため、まずは、地域・産業・教育振興、防災体制の充実を図る。その後、テレワークやサテライトオフィス事業の準備につながるかと考えている。  
この事業はさまざまな検討課題や準備があり、早急に取り組まなければならぬ継続課題が山積しているため、提言の趣旨は理解しているが、今後の政策課題の中で総合的に判断していく。



# 令和2年第3回定例会一般質問

多感な思春期に目で、耳で、肌で外国の文化を体感することは、子どもたちの将来において大きな自信となり、貴重な財産になると考え、多世代・異業種による海外研修事業の実施を提案したい。異国の地で寝食を共にした絆はかけがえないものであり、その経験は必ずや当町のみらいづくりに生かされるだろう。過去に「町民海外派遣研修事業」に参加した方々が現在、それぞれの立ち位置で重責を担っている事実がこれを証明している。コロナ禍の状況にもよるが、2点伺う。

①金武町との今後の関わり方と姉妹都市提携の可能性は。

②「少年国内研修交流事業」を一新し、多世代・異業種による海外研修の実現を。

## 山本教育長

「少年国内研修交流事業」を多方面から検証し、人材育成事業としてまちづくりと連動した事業内容へと改善を図るべきとの趣旨と思うが、教育委員会が所管する事務事業の範疇での答弁になることを了承いただきたい。

①当町は、教育委員会の事業として実施しているが、相手先は子ども会であり町同士、教育委員会同士の位置付けではなく、姉妹都市

提携を展望する状況にはないが、10年を迎えるにあたり事業評価を踏まえ、両町の今後の関係性については、町部局とも慎重な協議が必要であると考えている。

②当町の特徴的事業として位置付けていることから、現状の内容をもつて今後も継続していきたい。一方で、提言いただいた多世代・異業種を参加者とする国内外への町民派遣型の研修事業については、まちづくりにおける人材育成の観点からその必要性も含め、町部局との調整が必要な案件でもあり、現段階において教育委員会が中心となって事業創設をする考えはない。

## 長浜議員

金武町との関わりと「少年国内研修交流事業」について、教育委員会としての考えは十分理解した。これを含め、まちの未来を担う人材育成という観点から、多世代・異業種による海外研修について、町部局としてはどのように考えているか、町長に改めて伺う。

## 鳴海町長

当町は、過去に「モンゴル少年国際交流」、「町民海外派遣研修事業」等を実施した経緯があるが、これらはそのときどきの地域情勢や国の施策に乗り広く見聞を図り、結果として

てまちづくりに寄与することを目的に行われたものと理解する。しかし、どの事業にあっても回を重ねるごとに、目的の明確さと成果を期待する声が高まるなど研修者の負担となり、参加者の確保が出来なくなってきたこと。また、時の流れから研修と観光との線引きに対する目線が非常に厳しいものとなったことなどから取りやめになった。交流や研修には町民機運の高まりはもとより、相手方との相互理解と協力体制も必要となることから、慎重に取り進めなくてはならない。コロナ禍や感染症などの状況把握の上、今後の課題として検討する。



昨年の少年国内研修

## 第3回定例会 補正予算の審議

### 一般会計（歳出）

【内容】既定予算に1498万2千円を増額し、71億2934万1千円とした。  
（全員挙手で原案可決）

### 民生費

#### 新冠町アイヌ施策推進地域計画

#### 酒井議員

- ①計画にある多機能型交流施設整備の概要と目的は。
- ②この施設を計画するに当たっては、協会の意思は反映されているのか。
- ③この施設を町おこしで利用するのか。

#### 坂東町民生活課長

- ①規模として東町生活館程度を予定しており、概ね350平米。
- ②協会と協議を重ねて建築していく。
- ③民俗文化保存会も利用するので、アイヌ民族の踊り、料理、衣装などアイヌ文化を発信していく。

#### 酒井議員

事業費における補助率は、

#### 坂東町民生活課長

80%。

農林水産業費

熊捕獲奨励報奨金

長浜議員

現在までの捕獲数は。また、例年との比較は。

島田産業課長

8月末で12頭。昨年度は年間13頭。

長浜議員

①命を脅かすこともあることから、一層の対策強化も必要と考え、春熊猟の働きかけや猟の必要性について、現場の声はないか。  
②熊発生した場合の情報発信の状況は。

島田産業課長

①問題個体と判断した場合は積極的に捕獲する活動をしている。春熊猟の話は現場からはない。  
②町のホームページに掲載している。

衛生費

危険空家等除却補助金

酒井議員

空き家の数は。また、現在の調査状況は。

坂東町民生活課長

151件。2年に1度調査している。

武田議員

補助制度始めて3年経過するが、町民の認知度は。

坂東町民生活課長

町政懇談会、広報誌等で周知はしているが、もう少し周知方法を検討して補助金の活用につなげたい。

健康診査（脳のMRI検査）

武田議員

今年度コロナで中止になったが、来年度の実施は。

鷹嘴保健福祉課長

来年度も実施予定。

武田議員

今年度中止になった分、来年度の枠を広げる考えは。

鷹嘴保健福祉課長

人口規模などで割り振られていたため、来年度も80名の予定。

教育費

スポーツ少年団活動

中川議員

少年団の指導者確保に苦労していると聞くが、保護者、民間も含めてスポーツ協会、スポーツ少年団本部を通じて指導者の確保に努力してもらい。

山本教育長

行政側が指導体制の指示ということではなく、団体の意向と状況を確認して課題・問題については行政の範疇の中で協議していくが、まずは実態把握をしていきたい。

コロナで事業中止

但野議員

コロナの影響で事業ができない団体があると思うが、事業ができなくて補助金の執行残が生じた場合の対応は。

新宮社会教育課長

過不足が生じたら基本的には返還してもらう。

一般会計（歳入）

繰入金

基金残高

中川議員

基金残高は昨年と比較してどうか。また、今後の推移は。

坂本総務課長

昨年度の基金残高は5億4676万5千円、現在4億7951万2千円と減っている。基本的には基金を繰入れない予算編成をしているが、今後はコロナ禍の影響で来年度の予算編成が予想つかない。ただし、来年度は町長選挙の年でもあり、当初予算は骨格予算編成を予定しているため、基金を崩さない予算編成ができると考えている。

※補正予算は、ほか1会計提案され可決。質疑は特になし。

条例改正

◎町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

（全員挙手で原案可決）

【内容】新型コロナウイルス感染症患者もしくは感染症の疑いのある患者の救急搬送業務等に従事した職員に対して、感染症防疫等作業手当を支給するもの。

武田議員

対象となる「その他これら作業に準じた場合」とは。

坂本総務課長

患者と接する医療従事者を想定しているが、感染症患者の火葬など、事例があった際には広く支給の対象にする考えでいる。

◎新型コロナウイルス感染症

の感染拡大防止のための新冠町国民健康保険に係る保険給付の臨時特例に関する条例の一部改正

◎北海道市町村総合事務組合規約の変更

◎北海道市町村職員退職手当組合規約の変更

◎北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更

（全員挙手で原案可決）



# 令和2年第3回定例会・第3回臨時会

## 報 告

◎令和元年度健全化判断比率  
及び資金不足比率 (受理)

【内容】 地方公共団体の財政健全化に関する法律に基づき、議会に報告するもの。

【審査意見】 健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されていると認められる。

### 【新冠町の健全化判断比率】

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
健全化判断比率	-	-	7.1	6.0
早期健全化基準	15.0	20.0	25.0	350.0
財政再生基準	20.0	30.0	35.0	

※実質赤字比率、連結実質赤字比率については、赤字を生じていないため「-」で表記しています。  
※実質公債費比率、将来負担比率とも基準以内です。

### 【新冠町の公営企業の資金不足比率】

	簡易水道事業特別会計	下水道事業特別会計
資金不足比率	-	-
経営健全化基準	20.0	20.0

※資金不足を生じていないため「-」で表記しています。

◎町の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告 (受理)

【内容】 地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育委員会から報告があった。

◎例月出納検査等の結果報告 (受理)

## 決 算 認 定

◎特別委員会で慎重審議

【内容】 令和元年度各会計決算認定は、監査委員の審査意見を付けて本会議に諮られ、慎重に審議するため議長及び議選監査委員を除く、全議員で構成する特別委員会を設置し、同委員会にて閉会中に継続審査することに決定した。

◇一般会計等決算審査特別委員会

◎委員長 芳 住 革 二  
◎副委員長 酒 井 益 幸

※決算審査特別委員会は議場で審議しますので、定例会や臨時会と同様に自由に傍聴できます。

日程は、11月4～6日、10日

## 意見書の提出

↳町民の声を国政に

第3回定例会において、以下の意見書が採択され、各関係機関へ提出されています。

◎新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

提出者 議会運営委員会  
◎国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書

提出者 議会運営委員会  
◎地方自治体のデジタル化の着実な推進を求める意見書

提出者 竹 中 進 一

## 令和2年第3回臨時会

令和2年8月31日

### 一般会計 (歳出)

【内容】 既定予算に2億1723万7千円を増額し、71億1435万9千円とした。(全員挙手で原案可決)

### 総 務 費

新型コロナウイルス感染症予防対策備品購入補助金

### 但野議員

4月以前にアルコール消毒、マスク等を購入している事業所もあるが、4月1日以降の購入とした理由は。

### 坂本総務課長

今年度分からとした。また、マスク等の消耗品は対象としていない。

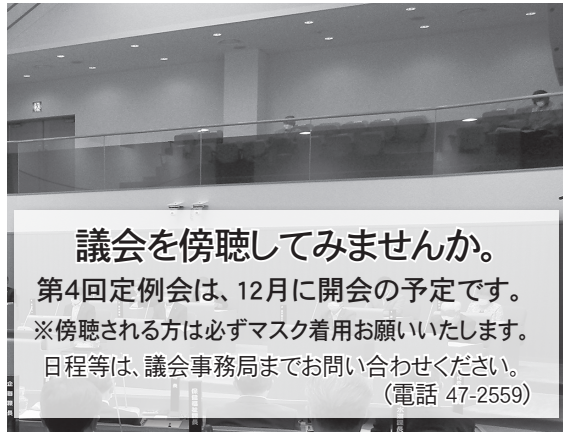
### 氏家議員

①補助率は。

②医療福祉介護従事者継続支援金では消耗品も対象にしているが、なぜこの補助金は対象にしないのか。

### 坂本総務課長

①個人、法人、職種を問わず補助率4分の3、上限は10万円。備品の定義は、1万円以上で複数年対応できるものとしている。



# 令和2年第3回臨時会補正予算

②医療福祉介護継続支援事業は一律20万円を給付する事業。この補助金は感染症予防対策として備品を購入した場合に一律支援するもの。備品購入にかかった費用に対して補助金を交付する。

## 長浜議員

100事業所と設定した理由と超えた場合の対応は。

## 坂本総務課長

多くの事業所を対象とするため100とした。超えた場合は予算協議する。

## 消耗品（パーティーション購入）

### 提議員

パーティーションはなぜ消耗品なのか。今回の購入で公共施設全てビニールだった所もパーティーションになるのか。

## 坂本総務課長

1万円以下の安価なものを購入するため消耗品としている。基本的にはアクリル製のもので窓口に飛沫防止対策をとりたい。

## 民生費

### 寿入浴券追加交付

### 竹中議員

①予算の算定根拠は。

②現在の交付率は。

## 鷹嘴保健福祉課長

①前年度実績をベースに算定。

②7月末実績、70歳以上35・1%、障がい者73・7%。

## 堤議員

免疫力向上ということであれば、60歳以上とか枠を広げて配布する考えは。

## 鷹嘴保健福祉課長

既存事業の拡充として考えている。

## ひとり親世帯支援給付金

## 長浜議員

国の給付対象外となった13世帯を対象としているが、対象外となった理由は。

## 坂東町民生活課長

収入が主な理由。

## 介護予防事業備品購入費

## 竹中議員

貸し出しするタブレットには通信機能を設定するのか。

## 鷹嘴保健福祉課長

設定しない。

## 竹中議員

通信機能をつけると会場にこれがない高齢者が自宅で講話を聞いた、動画を見て体操ができるのではないか。

## 鷹嘴保健福祉課長

タブレットの操作は高齢者の

方には難しいと考え、事前に作成した動画を入れて使用してもらう。また、脳トレの一環として社会教育と共同で開催している生涯学習事業などでパソコン、タブレットの使い方の講習会を検討している。

## 衛生費

### 消耗品（マスク・消毒液等）

### 酒井議員

①マスク20万枚の備蓄理由は。

②次亜塩素酸水については、国によると効果は期待できないと言っているが、設置する理由は。

## 鷹嘴保健福祉課長

①第3波、4波に備え町民配布、事業所等必要なところに配布を想定している。

②ふき取りなどの消毒用に有効塩素濃度の次亜塩素酸水を生成する機器を購入し、次亜水を町民に配布することを検討している。

## 備品購入（コロナ関連）

## 芳住議員

加湿器70台の購入を取り止めたが、当初はどこで使う予定だったのか。また、今後購入する予定はないのか。

## 鷹嘴保健福祉課長

各施設に置く予定だったが、国

が空間噴霧は適当でないと言表したため取り止めた。加湿器は購入しないが、物の表面消毒には効果があるとしているため、次亜塩素酸水の生成器を性能の高いものに変更して購入する。

## 農林水産業費

### 農林水産業経営維持支援金

### 酒井議員

気象条件であったり、病気、害虫などの影響を受けていた場合も該当するのか。

## 島田産業課長

気象条件での影響ということの把握ができないため、あくまでも本年1年間と前年1年間の収入比較と考えている。

### 軽種馬市場上場促進事業補助金

### 竹中議員

毎回支給が年度末の3月と遅いので、早い時期に支給するべきでは。

## 島田産業課長

軽種馬農協の協力を得ながら連携して事務処理をしているため、支給が年明けになっている。理解願いたい。

## 中川議員

毎年頭数増加による補正予算が



# 令和2年第3回臨時会補正予算

出てくるが、頭数の見込みが甘いのではないか。

## 島田産業課長

理事者と協議して十分な予算確保をしていきたい。

## 野菜促成栽培施設環境モニタリングセンサー導入補助金

### 竹中議員

各農家のデータを一つに集めると今後の農業に活かせていくと思うが、考えはなかったのか。

## 島田産業課長

導入する農家によって求める情報異なるため、その考えはない。

## ホッキ最小成員放流事業補助金

### 竹中議員

ホッキの放流は補助率が上がるが、マツカワについての考えは。

## 島田産業課長

マツカワ放流事業については、コロナ関係の補助はない。各町、各漁協の負担で実施しており、コロナ対策にはなじまないと判断した。

### 但野議員

①今回の事業は12月開始を予定し、3トンから5トンと増量しているが、急な購入に対して問題なく納入されるのか。  
②他の漁協でも同じ事業を計画しているのか。

## 島田産業課長

①1月から事業開始するが、漁協に確認をとり納入できる。  
②把握していない。

## 受精卵移植事業補助金

### 酒井議員

①補助率60%にした根拠は。  
②予想される補助件数は。

## 島田産業課長

①コロナ対策事業に当たっては一律3割増とした。  
②例年採卵12件、移植359件となっている。

## 商工費

## プレミアム商品券発行事業補助金

### 酒井議員

金額設定等の考え方は。

## 原田企画課長

コロナ対策事業全体の中で、交付金配分のバランスを考えた。

### 酒井議員

残った場合は二次販売するのか。

## 原田企画課長

二次販売の協議はしている。

### 但野議員

地域振興券の考えもあったと思うが、プレミアム商品券にした理由は。

## 原田企画課長

地域振興券の場合は道の補助金10%が出ない。また、今回は町民の生活支援というより、商工業振興という観点からプレミアム商品券にした。

### 但野議員

振興券もプレミアムも金額は変わらないと思う。低所得者世帯などは現金で購入しないといけないことから、プレミアム商品券は全世帯に還元されない。過去2回プレミアム商品券を実施し、検証結果として全町民に還元されていない。カンフル剤的な一過性の消費で終わると結果が出ていることからも、全世帯に配布する地域商品券の方が良かったのではないか。

## 原田企画課長

あくまでも今回の目的は、コロナで売り上げが減少となった町内商工業者の支援として消費を喚起するもの。

### 氏家議員

①販売を郵便局とした場合の利点は。

## 原田企画課長

①今までは商工会1カ所での販売だったために受付が混雑していたが、他町で郵便局で実施している情報を受け、郵便局であれば町内3カ所で販売も出来ることから、

郵便局とした。

②郵便局への手数料は発生するが、金融機関への換金手数料がなくなった。

### 堤議員

簡易郵便局では販売できないのか。

## 原田企画課長

郵便局の方針で簡易郵便局では販売できないとなっている。

## 新冠温泉備品購入

### 芳住議員

テラスについて雨の日の対策は。

## 原田企画課長

パラソルは購入するが、ロビーから見た景色も考慮して屋根の考えはない。

## 観光協会補助金(電動自転車購入)

### 堤議員

町内でレンタサイクルやっている事業者は。

## 原田企画課長

現在はないため、観光協会が新たに事業を開始した。

### 酒井議員

①自転車の保管場所は。

②損害保険の加入状況は。

## 原田企画課長

①観光協会が保管している。  
②観光協会に加入する。

# 令和2年第3回臨時会補正予算

**温泉施設換気システム改修工事**

**秋山議員**

改修内容は。

**原田企画課長**

コロナウイルス感染症拡大防止から換気能力を高めるため、排気口を増設する。また、ファンコンベクターの風量、暖房能力を約2割くらいアップさせる。

**秋山議員**

工事の実施時期は。

**原田企画課長**

11月上旬に1週間くらい休館して実施する。

**酒井議員**

ファンコンベクターは何力が増えるのか。

**原田企画課長**

現在は天井に1力所なため、壁に2力所増設する。

**「馬九いく格言みくじ」販売ステーション購入**

**但野議員**

①1回いくらか。

②設置場所は。

③カプセル1000個購入するが無くなった場合は事業をやめるのか。

**原田企画課長**

①1000円。

②今は観光協会事務所内。

③みくじの収益もあるため事業費の中で観光協会が購入していく。

**但野議員**

設置場所は集客の多い道の駅の考えはないか。

**原田企画課長**

道の駅内はそれほど広くなく、管理等の問題もあるため十分検討したい。



「馬九いく格言みくじ」設置

## 消 防 費

**半自動式除細動器購入**

**武田議員**

コロナの疑いがある患者の救急要請に対応する判断基準は。

**坂本総務課長**

医師と消防の判断になる。

**避難所用消耗品購入**

**竹中議員**

潮位監視カメラの設置場所を漁組の屋根としているが、夜間と大津波時には対応できるのか。

**坂本総務課長**

状況による。現地確認ではなく、遠隔確認とすることで安全性は十分図られる。夜間であっても潮位の変化がわかるように設置する。

**竹中議員**

センサーを付けるとさらに完璧だったのではないか。

**坂本総務課長**

センサーであればより制度が高く監視できると思うが、費用的に高額にもなることから、今回はこの予算内で出来る限りということでカメラの設置とした。

**但野議員**

①避難者を814名想定しているのであれば、アルコールティッシュやタオル等のセットが少ないのは不足分の購入なのか。

②購入の積算根拠は。

**坂本総務課長**

①保管場所や保管期間等もあり、ある程度の数で制限している。  
②3割を目安に備蓄しており、他にプッシュ型支援ということから、国・道からの支援もあることから、今回の購入は町として必要な分を

用意する。

**防災施設等Wi-Fi整備工事**

**氏家議員**

災害時だけでなく、平時の利用も可能か。

**坂本総務課長**

利用は可能だが、その際の利用は想定していない。

## 教 育 費

**学習支援員新規採用**

**但野議員**

どこに配置するのか。

**湊管理課長**

新冠小学校を中心に配置するが、朝日小学校に行くこともある。

**但野議員**

朝日小学校への移動手段は。

**湊管理課長**

公用車を利用してもらう。

**小中学校貸出し用モバイルルーター購入**

**酒井議員**

63台の購入で全家庭大丈夫なのか。

**湊管理課長**

各家庭にインターネット接続環境について調査を実施しており、小中学校合わせると80%ぐらい環境が整っているため、今回上限の63台を購入する。



# 令和2年第3回臨時会補正予算

**小中学校水道蛇口交換**

**竹中議員**

蛇口をレバー式ではなく、センサー式にする考えは。

**湊管理課長**

学校と十分協議した中で他の施設的环境も考え、感染予防も教育の中で実施していきたい。

**新冠小学校プール改修工事**

**堤議員**

朝日小学校のプール改修が予算化されていないが、今後のプール授業、夏休みはどう対応するのか。

**湊管理課長**

今年度は密を防止できないことから開設を見送ったこともあり、次年度に向けて新冠小学校のプールを改修することにした。朝日小学校の児童については、新冠小学校プールを利用して授業することを考えており、夏休みも新冠小学校を利用してもらう考えでいる。

**レ・コード館サーモカメラ導入**

**竹中議員**

導入するサーモカメラの機能は。

**新宮社会教育課長**

顔色で温度を感じしパソコン画面で確認する。

**竹中議員**

感知する範囲は広くないと思う

が、出入口の往来を一方通行にする等の考えは。

**新宮社会教育課長**

人数制限のあるものではないが、確実に判断するためには一人一人カメラの前に立って通行してもらう。



現在設置されているサーモカメラ

**レ・コード館券売機購入**

**但野議員**

従来ある券売機との違いは。

**新宮社会教育課長**

機能的に問題はないが、前回より安価なものを購入する。

**但野議員**

機能がかわらないのであれば、購入する必要がないのでは。

**新宮社会教育課長**

現在、故障しているため使用出来ない状況にあることから、紙幣

は1000円札のみしか使えないものに変更して購入する。

**認定子ども園床改修工事**

**酒井議員**

張り替えをする床の問題点は何か。また、床工事は予定どおり完了するのか。

**湊管理課長**

開設から10年経過していることもあり、すき間等消毒作業に不安を感じていたため、衛生的な床に改修をする。園児が使用する部分は全て完了する。

**歳入歳出全般**

**第2次地方創生交付金**

2億193万3千円

**長浜議員**

交付金の金額に達しない場合、追加の事業を行うのか、減額によって戻すようなことになるのか、繰り越しということになるのか、考え方を伺う。

**中村副町長**

100%の執行率とは思っていない。次の第3次計画においては、使いきれなかった経費を充てた事業計画とし、第1次、第2次の交付金については、町費を含めて全額使う考えでいる。

## 委員会の活動状況

令和2年8月～10月

**総務産業常任委員会**

○9月8日

・農業支援員の採用 外4件

**社会文教常任委員会**

○9月8日

・令和2年度新冠町少年国内研修交流事業の中止 外2件

**全員協議会**

○8月18日

・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(第二次配分)実施計画 外1件

○8月31日

・議会運営事項の報告  
(第3回新冠町議会臨時会の運営)

○9月8日

・新冠町アイヌ施策推進地域計画の認定 外2件

○9月15日

・中山間地域等直接支払事業外2件

○10月28日

・小中学校及び認定こども園等の臨時休業 外7件

※ほかに議会運営委員会、議会広報常任委員会も開催しています。

『こころ』 ～地域共生社会の実現を!～



☆社会福祉法人 新冠ほくと園 理事長 湯沼 博☆

自然豊かな節婦に生まれ、時代背景から厳しい生活環境の中、自由気儘きままに過ごした幼少期。早朝の列車で3カ年の苦小牧通学を終え、都市部に憧れ（大阪）就職しましたが、都合により1年程度で故郷に戻り、新冠町役場建設課建築技術者として採用され、その後管財建築課・企画課・総務企画課を経て、41年間の行政の勤めを無事に終えることができました。

私は、これまで計画や形づくり等を主とした“ものづくり”に関わってまいりましたが、この度の理事長就任にあたり、ほとんど形として残らないと言われる“人から人へと提供される対人サービス”に携わり、あらためて「福祉サービス」の難しさと身にあまる重責を感じながらの日々であります。

私たちは、障がいのある方にとって自立し、希望をもって安心して生活することが、望ましいと考え、社会福祉法人として「社会・地域における福祉の充実・発展に寄与すること」とし、障がい福祉を中心とした事業の安定的・継続的な経営に努め、多様な福祉需要に柔軟かつ主体的に取り組み「地域から信頼される法人」を目指すとともに「地域共生社会」の実現に最善を尽くしてまいりますので、一層のご支援とご協力をお願いします。

Topics 議会の話題

先人達そくせきの足跡「議会だより」

昭和43年5月16日に第1号を発行した「議会だより」は、本号で222号を数えるにいたりました。これまで多くの議会議員が編集に携わり、議会の状況と町の動向を町民に向けて発信してきました。しかし、残念ながら多くの町民が手に取っているという実感はもっていません。このことは、私達の中でも問題としてとらえ議論を重ねてきましたが、未だ「解」を見つけるにはいたっていません。デジタル化の時代にあつて、紙面での伝達は魅力として薄いかもしれませんが、幅広い世代に発信するには紙面は必要と考えています。

現代において、情報を得る手立ては多岐に及びます。そのような時代にあつて、52年間変わらない「議会だより」は情報媒体としては、力強いものではありません。しかし、一号一号丁寧に編集し、発行することで現在のまちづくりを町民の方々にお伝えできると信じています。

議会広報常任委員会 一同

あとがき

「自粛」という言葉が生活の中に入りこんでから1年が経とうとしている。コロナウイルス感染症の恐怖がこれほどの長期間に及ぶとは誰が予想しただろうか。9月現在、世界の感染者は3000万人を超え、死者は94万人を数えている。まだまだ楽観視できない。

国もさまざまな経済対策と衛生対策を同時に発出しているが、相反する政策に不満の声も聞こえてくる。

私たち一人ひとりが気持ちをしっかりと持ち、前向きに根気強く構えることが重要な時かと考える。

今号のあとがき担当

芳住 革二

議会広報常任委員会

委員長 但野 裕之

副委員長 家良 美之

委員 芳住 革二

委員 長浜 謙太郎

委員 酒井 益幸

発行責任者

議長 荒木 正光

この議会だよりは、会議録に基づいて議会広報常任委員会が内容を要約し、掲載しています。新冠町議会の情報は町ホームページでご覧いただけます。また、レ・コード館図書プラザに「閲覧用会議録」を配備していますのでお気軽にご覧ください。【年4回発行】